

19 観 光

19-1 球磨焼酎製造場と銘柄

資料：球磨焼酎酒造組合

	計	人吉市	球磨村	錦町	あさぎり町					多良木町	湯前町	水上村
						上	免田	岡原	深田			
製造工場数	27	9	1	2	5	1	1	1	2	6	2	2
銘柄数	445	136	13	17	86	25	9	9	43	98	55	40

令和7年4月1日現在。

19-2 温泉の状況（令和6年度）

資料：人吉保健所

（単位：本・軒）

源泉総数	利用源泉数		未利用源泉数		温度別源泉数				温泉湧出量（l/m）		温泉利用公衆浴場数	温泉利用旅館数
	自噴	動力	自噴	動力	25℃未満	25℃～42℃	42℃以上	不明	自噴	動力		
77	1	62	1	13※	1	20	56	-	245.0	8,820.72	36	19

3月31日現在。未利用源泉（その他：掘削完了後動力装置の許可を取得していないもの）は何らの用途にも全く利用されていないもの。

25℃未満の温泉とは泉水の成分上温泉に該当するもの（温泉法）。

同一施設で公衆浴場業・旅館業の許可をもつ場合は、温泉利用公衆浴場数及び温泉利用旅館数それぞれに計上した。

※動力未設置も含む。

19-3 宿泊施設状況（令和6年）

資料：市商工観光課

（単位：軒・室・人）

	計	ホテル・旅館・ビジネス	ペンション	民宿
軒数	39	37	-	2
部屋数	682	673	-	9
収容人員	1,670	1,655	-	15

4月1日現在。

19-4 観光客数（推定）の推移

資料：市商工観光課「県観光統計表」

（単位：人・万円）

年次	観光客数			推定観光消費額	入込観光客の旅行形態		
	計	県外観光客	県内観光客		計	日帰り客	宿泊客
令和2年	503,251	283,448	219,803	…	503,251	464,291	38,960
令和3年	476,944	267,967	208,977	781,131	476,944	402,582	74,362
令和4年	754,681	280,908	473,773	1,505,600	754,681	667,071	87,610
令和5年	977,788	360,251	617,537	12,698,707	977,788	832,273	145,515
令和6年	1,230,680	740,539	490,141	17,306,817	1,230,680	1,063,497	167,183

19-5 球磨川くだり乗船客数（月別）

資料：球磨川くだり櫓

（単位：隻・人）

	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	
	稼動延隻数	乗船客数	稼動延隻数	乗船客数	稼動延隻数	乗船客数
計	1,141	8,802	1,089	8,798	1,636	13,044
3 月	67	409	105	930	83	562
4	76	420	78	633	82	634
5	135	1,031	119	1,082	144	1,390
6	53	363	39	257	72	619
7	88	582	73	500	99	1,032
8	179	1,792	112	1,018	426	2,412
9	82	732	142	1,370	124	1,185
10	140	1,197	124	945	172	1,691
11	134	1,024	131	1,123	141	1,342
12	68	464	52	282	118	1,005
1	56	361	62	337	88	584
2	63	427	52	321	87	588

球磨川くだり櫓は、3月～翌年2月を年度にしている。

19-6 観光資源一覧

資料：市商工観光課

主な観光資源名	現況・みどころ
人吉温泉	50余の源泉があり、銭湯スタイルの温泉が多数点在する。泉質は肌にやさしいアルカリ性単純温泉。「美人の湯」として親しまれている。
球磨川くだり	日本三急流（静岡県富士川・山形県最上川・熊本県球磨川）の一つ、球磨川。「清流コース」では、ゆるやかな流れにのって、川のほとりに広がる自然や町並みを楽しめる。
人吉城跡	相良氏700年の居城で、別名を織月城と呼ぶ国指定の史跡。水の手橋付近の石垣「はねだし」（武者返し）の建築様式は、北海道函館の五稜郭等数カ所に見られる。平成5年、多門櫓、角櫓、長塀を復元。平成18年、「日本100名城」選定。※令和6年4月現在、一部立入禁止。
青井阿蘇神社	大同元年（806年）の創建で、本殿、廊、幣殿、拝殿、楼門は平成20年に国宝指定された。一般に桃山様式と呼ばれる技法で建築されているが、随所に独特な建築が施されており「人吉様式」とも名付けられた。
願成寺	人吉藩主相良家の菩提寺で、天福元年（1233年）の開山。本尊の阿弥陀如来坐像は国の重要文化財に指定されている。
相良家墓地	人吉城主相良家累代の墓地で、初代から37代までの墓が整然と並んでいる。墓所としての暗いイメージはなく、全国的にも貴重な文化財。
大村横穴群	JR九州人吉駅裏の断崖に、今から約1400年前に作られたと言われる古代の墓所。大小26の横穴式古墳からなり、入口に装飾が施されている。国指定史跡。
武家屋敷	かや葺の屋根を持つ母屋は、人吉藩主の御仮屋を移したもので、門は人吉城の堀合門を新宮氏が拝領して自宅の門としたもので、現存する唯一の人吉城の建造物。※令和7年4月現在、休業中
鹿目の滝	雄滝高さ36m、雌滝高さ30m、平滝の3つからなる豪快な滝で、避暑地、ハイキングの適地である。人吉ICから車で20分。「日本の滝100選」選定。熊本県指定名勝。
JR肥薩線	急流球磨川に沿う通称「川線（八代～人吉）」、ループ線やスイッチバックなどの“鉄道遺産”が残る「山線（人吉～吉松）」とともに人気の路線である。※令和7年4月現在 運休中
矢岳高原	標高700mで、宮崎県えびの市を始めとして、霧島山系から遠く桜島まで望むことができる。
人吉梅園	JR九州大畑駅付近の丘陵に、昭和42年から造成されたもので、面積8ヘクタール、約4,600本が植樹されている。毎年2月下旬に梅の花が満開になる。また、5月下旬には一般開放の梅祭りも開催。市街地から8km。えびの市方面に向かう途中には長さ1,190mの人吉ループ橋がある。
田野高原	鹿児島県（伊佐市）との県境にあり、標高700mの台地で、春はワラビ狩りの名所。
布の滝	人吉中心部より南へ8km、車で20分の木地屋町にあり、胸川支流・上荒川・内川の自然林の中に、布のように流れる美しい滝を見ることができる。
道の駅人吉／人吉クラフトパーク石野公園	人吉の匠の技を見て触れて、体験できるというテーマのもとに陶芸館、木工館、民芸館などで人吉の伝統工芸や文化が味わえる観光施設。また、キャンプ場近くには、県指定天然記念物の釜（かま）の奥戸（くど）がある。E-バイクで日本遺産人吉球磨を軽快に散策するのもおすすめ。
ラフティング	日本三急流「球磨川」と大自然の醍醐味を満喫しながら、ラフトボートを自ら操り、絶叫とともに川を下る九州で唯一のラフティングを体験できる。
鍛冶屋町通り	石畳が敷き詰められた通りは、かつて60軒ほどの鍛冶職人が軒を連ねた場所。現在では、お茶蔵やみそ・しょうゆ蔵などが並び、歩いているだけでも歴史を感じられる。日本で唯一、ポルトガル発祥のカルタ遊び「ウンスカルタ」が現存する。
人吉鉄道ミュージアム MOZOCAステーション868	「100年レイル肥薩線」の魅力を今に伝える人気スポット。館内には沿線鉄道遺産の紹介に加え、ミニトレインなどがあり家族連れで楽しめる。トータルデザインは、「SL人吉」等多くの観光列車を手掛ける工業デザイナー水戸岡鋭治氏によるもの。